

## 令和5年度福島県地球温暖化対策推進計画等に基づく施策の実施状況（緩和策）

- 令和5年度に県が実施した、主な省エネ・再エネ設備等の導入支援及び県有施設の脱炭素化の取組により、試算では、年間の二酸化炭素排出量を約12,700トン削減できることが見込まれる。

## 産業・民生業務部門

2023年度の  
削減目標※

▲172,000トン/年

約6,100トン/年削減

## 省エネ機器導入支援

- ・実績：103件 約276トン  
(R4補正繰越) 1,650件 約3,600トン
- ・約3,900トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 自家消費型再エネ導入支援

- ・実績：設備導入 10件 (2,063kW)
- ・約1,370トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 公共施設へのLED照明導入

- ・実績：20件 ・約220トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 信号機のLED化

- ・実績：約1,500灯 ・約380トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 公共施設へのPPA太陽光導入

- ・福島県環境創造センター (0.5MW)  
(R5.4月から電力購入)
- ・約260トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果



## 運輸部門

2023年度の  
削減目標※

▲65,000トン/年

約850トン/年削減

## 電気自動車 (EV) 導入支援

- ・実績：239件
- ・約150トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## エコタイヤ導入支援

- ・実績：10,000本
- ・約670トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 燃料電池車 (FCV) 導入支援

- ・実績：17件
- ・約10トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 公用車への電動車導入

- ・実績：EV6台 HV24台
- ・約18トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果



## 民生家庭部門

2023年度の  
削減目標※

▲54,000トン/年

約5,700トン/年削減

## 省エネ家電購入支援

- ・実績：(R4補正繰越) 19,664件
- ・約2,000トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 住宅用太陽光の導入支援

- ・実績：2,238件 (13,925kW)
- ・約3,650トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## 既存住宅の断熱改修等支援

- ・実績：29件
- ・約22トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果

## ZEH導入支援・ふくしまZEH支援

- ・実績：ZEH12件 F-ZEH3件
- ・約38トン/年のCO<sub>2</sub>削減効果



※福島県2050年カーボンニュートラルロードマップの単年度の削減目標

・試算にあたっては、個別の推計値の他、環境省「『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後』の関連資料」等を参考とした。

# 令和5年度福島県地球温暖化対策推進計画等に基づく施策の実施状況（適応策）

- 気候変動適応法で規定する地域気候変動適応センターである「福島県気候変動適応センター」を令和5年4月に設置し、気候変動適応策に係る情報発信、分析等を実施した。

## 適応策に係る情報発信

### 説明会・イベントでの情報発信



ふくしまゼロカーボンDAY！2023



そなえる・ふくしま2023

イベントでのブース出展による県民への情報発信



市町村説明会での説明



団体等への講演

### コミュタン福島での情報発信



クイズ形式で環境問題を学べる  
“探る！ふくしまの環境のいま”



暑さ指数を測定して熱中症の危険  
ポイントを学ぶ体験イベント

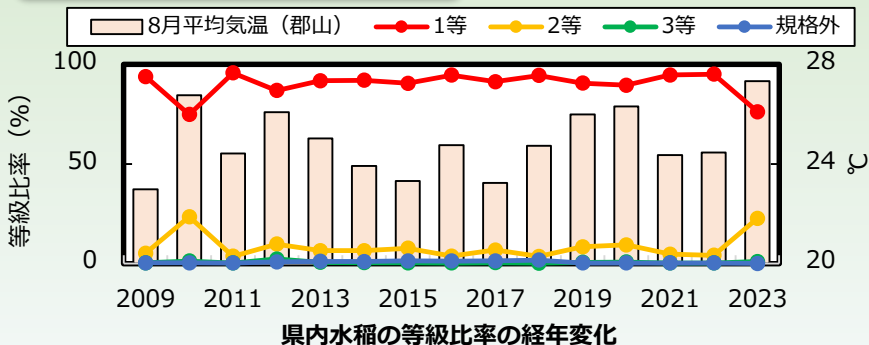


デジタル地球儀に触れて気候変動  
を学べる “触れる地球”

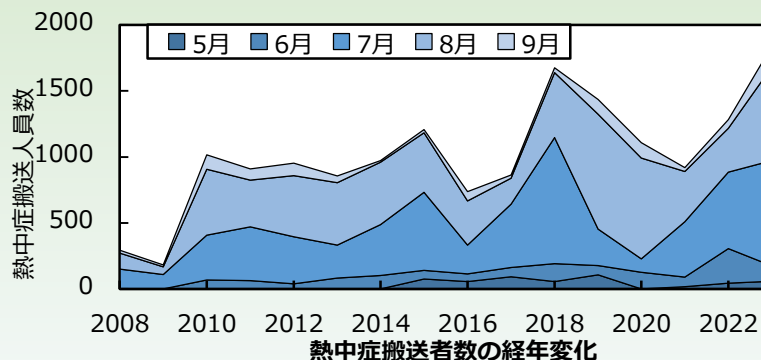


温暖化による果実の栽培への影響  
等を学べる “3Dふくしま”

## 適応策に係る情報分析・整理



今年は高温の影響により、水稻の成熟が早まった。  
また、農作物検査における一等米比率の低下の影響も見られた。



5月から9月の熱中症搬送者数は、昨年、1,840人と過去最多を記録した。  
本格的な暑さとなる7、8月の発生が多い一方で、近年は6月も多い傾向にある。

## 令和5年度福島県地球温暖化対策推進計画等に基づく施策の実施状況（緩和策）

- 令和5年6月に県全体の地球温暖化対策の推進母体として、「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」を設立。
- 温室効果ガスの排出削減・吸収源対策である「緩和策」として、環境イベントの開催などの普及啓発、再エネ設備、電気自動車（EV）等の導入支援などを行った。

## 1 県民総ぐるみの省エネルギー対策の徹底

### 分野横断

- ・ゼロカーボンDAY!2023開催（5回）
- ・ふくしまゼロカーボン宣言（事業所版）（4,160事業所※R6.2.22時点）
- ・CN取組事例紹介動画の作成 等

### 産業・民生業務部門

- ・省エネ機器導入補助（103件）
- ・県内企業のためのCN実践セミナー開催

### 運輸部門

- ・EV、FCV導入支援（239件、17件）
- ・物流業界との共同記者発表
- ・エコタイヤ導入支援（10,000本） 等

### 民生家庭・廃棄物部門

- ・住宅用太陽光の導入補助（2,238件）
- ・ZEH導入支援（12件）
- ・ふくしまZEH支援（3件）
- ・既存住宅の断熱改修等補助（29件）
- ・福島県環境アプリの活用 等



物流業界との共同記者発表



CN取組事例紹介動画

## 2 再生可能エネルギーの最大限の活用

### 再生可能エネルギーの導入推進

- ・自家消費型再エネ導入支援（10件）
- ・地域活用型再エネ導入支援（2件）
- ・再エネ理解促進事業支援（4件）
- ・水素ステーション整備支援（1件）
- ・[再掲] FCV導入支援（17件）
- ・共用送電線及び風力発電設備の整備支援（10件）

### 地域循環型の再生可能エネルギーの利用促進

- ・間伐材等二酸化炭素削減支（30,000t）
- ・木質バイオマス利用ストーブ普及支援（100台） 等

### 再生可能エネルギー導入からカーボン・オフセットへの展開

- ・J-クレジット創出可能性調査 等

川内風力発電所  
（川内電力㈱提供）事務所やEV充電器等で活用予定の  
水素燃料電池

## 3 持続的な吸収源対策の推進

### 森林整備等の推進による吸収源対策

- ・間伐等森林整備補助（実施中のため未集計）
- ・保安林整備（下刈り41ha 等）
- ・林内路網整備（林道整備実施・補助）
- ・林業就労希望者向け長期研修実施（修了者：14名@林業アカデミーふくしま）
- ・林業就労環境整備支援（35事業体）
- ・木材製品需要拡大技術導入支援（4件）
- ・森林ボランティアサポートセンター設置（HPアクセス数：79,686件）
- ・福島県二酸化炭素吸収量認証制度（7団体、計337.19トン認証）
- ・観光・研修と組み合わせた植樹体験事業支援（2団体） 等

### 都市緑化の推進

- ・都市公園・防災緑地保全（17箇所） 等

### 藻場・干潟による吸収量確保

- ・環境・生態系保全活動支援（ウニ資源、アサリ資源）



間伐された森林



植樹体験

## 4 環境・エネルギー関連産業の活性化

### 環境・エネルギー関連産業の育成・集積

- ・再エネ関連産業育成・集積支援（成約件数：191件（平成29年度から累積））
- ・未来を担う再生可能エネルギー人材育成（延べ9校295名参加）

### 環境・エネルギー関連産業のビジネスチャンスの拡大

- ・REIFふくしま2023開催（10/12～13）
- ・海外再エネ先進地連携・企業間交流（ドイツ、デンマーク、スペイン）等

### 新技術の開発研究

- ・再生可能エネルギー事業化実証研究支援（12件）
- ・地域復興実用化開発等促進事業費補助（11テーマ）等

### 水素社会に向けた対応

- ・[再掲]FCV導入補助（17件）
- ・[再掲]水素ステーション整備支援（1件）
- ・新たな水素モビリティの実証運用支援（14件）等



㈱ヨークベニマルが運用する燃料電池小型トラック



REIFふくしま2023

## 5 未来のための環境・エネルギー教育の推進

### 環境・エネルギー教育の推進

- ・ふくしまゼロカーボン宣言（学校版）（536校・園）※R6.3.8現在
- ・ふくしまゼロカーボンへの挑戦表彰制度（学校版）（参加55校）
- ・うつくしまCOOLサポーター養成研修会開催（3回、受講者：計22名）
- ・コミュニティ福島における環境教育等の実施（県内小学校：235校等）
- ・環境教育副読本配布（28,000部）
- ・くらしと環境の県民講座開催（22回、受講者：計1,221名）
- ・エシカル消費の普及啓発（事業者、大学生、高校生との連携）
- ・森林から学ぶエコ活動（参加：117園）
- ・[再掲]CN取組事例紹介動画の作成
- ・[再掲]観光・研修と組み合わせた植樹体験事業支援（2団体）等

### 指導者の育成

- ・もりの案内人養成講座開催（受講者：25名（認定者：17名））
- ・グリーンフォレスター養成講座開催（受講者：3名（認定者：3名））
- ・地球温暖化防止活動推進員養成研修会開催（3回、受講者：計94名）等



高校生とのエシカル消費週末イベント



森林から学ぶエコ活動

## 6 脱炭素型地域づくりの推進

### 持続可能なエネルギー社会の構築

- ・[再掲]自家消費型再エネ導入支援（10件）

### 環境負荷の少ないまちづくりの推進

- ・福島県広域サイクリングルートの利用促進（7地域）
- ・交通渋滞の緩和解消（三春日和田線 左折レーン設置 等）
- ・照明LED化（道路：134基、トンネル：32箇所、県管理都市公園：1公園43基）
- ・低炭素建築物の認定（4件）
- ・住宅における県産木材使用促進（ポイント交付：160件）
- ・[再掲]ZEH導入支援（12件）
- ・[再掲]ふくしまZEH支援（3件）等

### 港湾・空港におけるカーボンニュートラルの実現等

- ・小名浜港湾脱炭素化推進協議会の開催（1回）
- ・福島空港脱炭素化推進協議会の開催（3回）等



Jヴィレッジ  
自家消費型太陽光の導入



住宅における県産木材使用

# 令和5年度福島県地球温暖化対策推進計画等に基づく施策の実施状況 (県有施設等のカーボンニュートラルに向けた主な取組実績)

資料2

- 県も一事業者、一消費者として、省資源・省エネルギーの取組を推進していく必要があることから、県有施設への脱炭素設備等の導入に取り組んだ。
- なお、令和4年度(2022年度)のふくしまエコオフィス実践計画における温室効果ガス総排出量の実績は、基準年度(2013年度)比で85%(▲15%)となった。

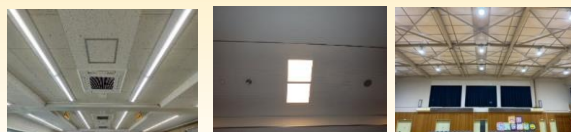
## LED照明の導入

### 設計

- ・会津児童相談所(保健福祉部)
- ・動物愛護センター(保健福祉部)
- ・テクノアカデミー郡山(商工労働部)
- ・テクノアカデミー会津(商工労働部)
- ・テクノアカデミー浜(商工労働部)
- ・県立学校体育館8校(教育庁)

### 工事

- ・福島県西庁舎(総務部)
- ・白河合同庁舎(総務部)
- ・ふくしま海洋科学館(文化スポーツ局)
- ・環境創造センター(生活環境部)
- ・ハイテクプラザ(商工労働部)
- ・浄土平レストハウス(観光交流局)
- ・福島空港(土木部)
- ・教育センター(教育庁)
- ・いわき支援学校他10校(教育庁)
- ・いわき東警察署(警察本部)



白河合同庁舎

浄土平レストハウス

いわき支援学校

## 電動車の導入

### 電気自動車(EV)の導入

- ・生活環境部 3台
- ・商工労働部 1台
- ・農林水産部 1台
- ・教育庁 1台



### ハイブリッド車(HV)の導入

- ・24台

## ZEB化

### 設計

- [新築] 郡山合同庁舎(総務部)  
R6年度竣工予定
- [新築] 農業短期大学校(農林水産部)  
R7.1月竣工予定
- [新築] 須賀川農業普及所(農林水産部)  
R6年度竣工予定
- [改修] 企業局いわき事業所(企業局)

### 工事

- [新築] 小名浜道路管理事務所(土木部)  
R6.3月竣工予定

## 充電設備の整備

### 設計

- ・県庁西庁舎(総務部)
- ・白河合同庁舎(総務部)
- ・会津若松合同庁舎(総務部)
- ・喜多方合同庁舎(総務部)
- ・南会津合同庁舎(総務部)
- ・南相馬合同庁舎(総務部)
- ・いわき合同庁舎(総務部)

### 工事

- ・県庁西庁舎普通充電設備22基(総務部)



## 太陽光発電設備の導入

### 設計

- ・都市公園(土木部)
- ・企業局いわき事業所(企業局)



- 気候変動の影響による被害の回避・軽減対策である「適応策」として気象リスクに強い農作物の栽培管理技術の推進、防災意識の定着化、熱中症予防の啓発等を実施した。

## 1 農業・林業・水産業



### 農業

- ・ 水稲の品質維持のための栽培技術開発
  - ・ 野菜等の気象リスク対策の効果検証等とセミナー開催（セミナー2回）
  - ・ 高温下でも着色しやすい果樹の品種等の導入（導入面積59ha）
  - ・ 農業・農村の多面的機能維持・発揮のための農地等保全活動の取組支援（取組面積68,369ha）
- ※R5実績見込



### 林業

- ・ 花粉の少ない苗木による再生林に向けた特定母樹品種の増殖（年間苗木供給量：約35万本）

### 水産業

- ・ 水温・潮流等の調査及びHPによる公表（調査回数：62回）※R6.3.5時点

## 2 水環境・水資源



- ・ 公共用水域の水質の常時監視（河川78か所、湖沼18か所、海域13か所）
- ・ 継続的な農業用ダムの貯水量の把握とホームページ公表

## 3 自然生態系



- ・ 指定管理鳥獣（イノシシ・ニホンジカ）の直接捕獲の実施（捕獲数 イノシシ：5,482頭、ニホンジカ：1,162頭）
- ※R6.1.31時点。許可捕獲と狩猟捕獲を含まない

## 4 自然災害・沿岸域



### 複合的な災害影響

- ・ そなえる・ふくしま2023の開催（来場者：約2,200人）
- ・ 出前講座やセミナーによる防災意識の啓発（出前講座等212回 ※R6.3.14時点）

### 河川・沿岸

- ・ 流域治水プロジェクトに基づき、自治体、企業、住民など流域全体のあらゆる関係者による流域治水施策の実施
- ・ 河川整備や農業用ダムの整備



### 山地

- ・ 土砂災害の防止等のための対策工事や警戒区域の指定等（工事着手44か所）

## 5 健康



### 暑熱

- ・ 消防庁調査期間中の熱中症搬送者数の調査の実施及びHP、SNSでの公表
- ・ 熱中症予防対策の県民への普及啓発（スポットCM、県政広報番組等 7回）
- ・ 農業者に対する農作業中の熱中症の注意喚起や各種研修会等での啓発実施（令和5年の熱中症による農作業中の死亡事故件数：0件）



### 感染症

- ・ 地域におけるヒトスジシマカの生息状況調査の実施（12地点実施）

## 6 産業・経済活動



- ・ 災害等に備えた事業継続計画（BCP）策定支援（11者）

## 7 国民生活・都市生活



- ・ 水道施設の耐災害性強化対策等促進のための施設整備費補助（4事業）